ボールペンの輸出

令和 4 年 6 月 16 日
横　浜　税　関

・2021 年 全国の輸出数量 11 億本、金額 557 億円
　　そのうち横浜港 4 億本、200 億円
・横浜港は数量・金額ともに 7 年連続全国第一位の輸出港

～なめらかな書き味、消せるボールペン、
丈夫で高品質な日本のボールペンは海外でも人気～

はじめに

文房具売場の筆記具コーナーに行くと、各メーカーの様々なボールペンが並んでいます。いろいろと試し書きをしながら、どれにしようかと迷う人も多いのではないでしょうか？書き味、握りやすさ、デザイン、色、字幅、耐久性、速乾性、消せる機能・・・。

日本には、漢字やかな、アルファベット等多様な文字があり、日本人は他国に比べて品質に厳しい評価を持っているそうです。そのため、日本のボールペンメーカーは、実用的で魅力的なボールペンを次々と開発しています。業界によると、これほど新製品を発売するのは日本のメーカーくらいだそうです。

そんな日本のボールペンは海外でも人気で、国内生産量の 6 割以上が輸出されています。ボールペンは、小さなペン先の精巧さ、インクの質、全体の設計が品質を左右します。今回は、「日本のものづくり」の技が詰まった「ボールペン」について特集します。

【インク】 ボールペンはインクの種類により、油性、水性、ゲルの3種類に分けられます。一般的に、油性よりも水性・ゲルの製造の方が高い技術力が求められます。通常の油性ボールペンは比較的簡単な構造で、安価であり、新興国でも大量に作られています。それぞれの特徴は以下のとおり。

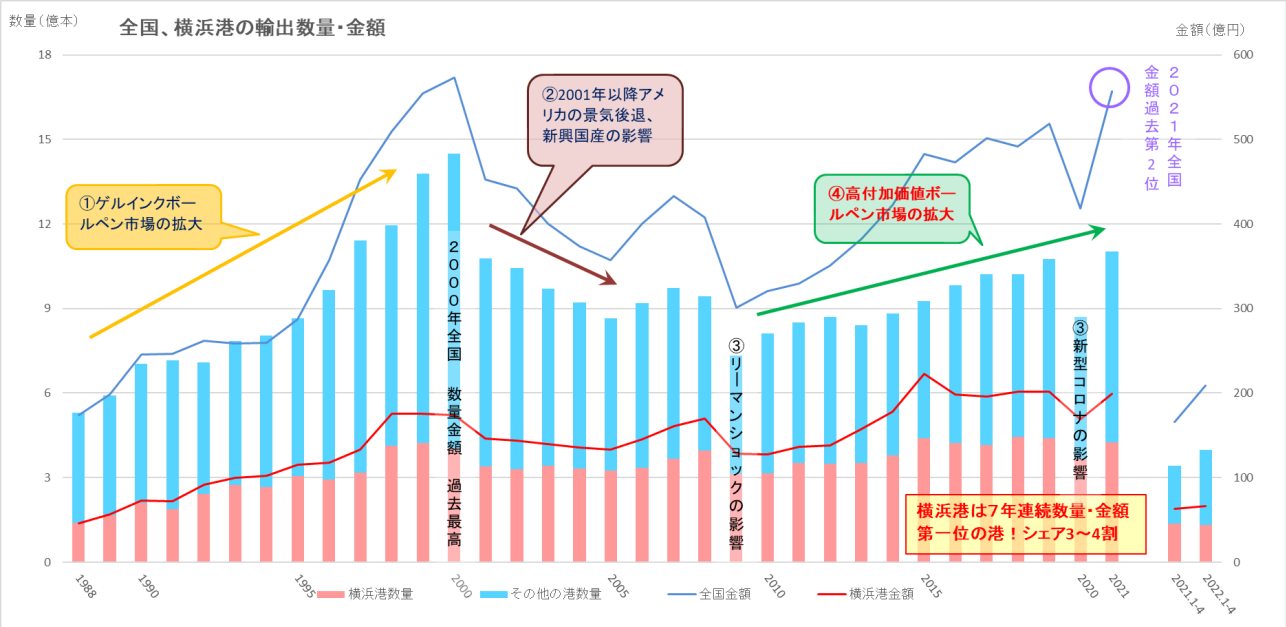
油性：筆跡が変質しにくい、筆記距離が長い、複写に適する、やや書き味が重い
水性：なめらかな書き味、鮮やかな発色、にじみやすい、軽く書ける
ゲル：鮮やかな発色で濃い、にじみにくい、軽く書ける（消せるボールペンは主にゲルインク）

日本の開発を時系列に並べると「①油性→②水性→③ゲル→④**なめらかな書き味の油性ボールペン、消せるボールペン**」の順になります。**日本の高い技術力**を生かして、様々な製品が作られています。

・本特集の「ボールペンの輸出」は、輸出統計品目番号の 9608.10-100「油性ボールペン」及び 9608.10-900「その他のボールペン」についてまとめたものです。
・「過去最高」とは、1988 年の統計品目改正後のデータを基礎として比較したものです。

輸出動向

【輸出推移】2021 年の全国の輸出数量は 11 億 3 百万本（前年比 126.8%）、金額は 557 億円（同 133.2%）で、金額は過去第 2 位（第 1 位は 2000 年の 574 億円）でした。このうち、横浜港は 4 億 25 百万本（同 116.0%）、200 億円（同 118.3%）で、数量・金額ともに 2015 年から 2021 年まで 7 年連続、全国第 1 位の港です。



業界によると、

① 【1988 年～数量推移】1988 年から 2000 年にかけて数量が右肩上がりで増えています。当時、油性と水性の良いところを兼ね備えたなめらかな書き味のゲルインクボールペンの販売が好調で、日本のボールペンの技術力の高さが広く認知されていったため、輸出が伸びたそうです。

② 【2001 年～数量推移】2001 年以降、数量が減少しているのは、主要輸出先であるアメリカでの同時多発テロ（2000 年）による景気後退の影響、また、新興国の安価なボールペンの台頭により、日本のボールペンの割高感が高まったため、とみています。

③ 【2009 年、2020 年の数量減少】2009 年はリーマンショックの影響でアメリカ向けが振るわず、2020 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少したそうです。

④ 【2009 年～数量推移】2009 年～2021 年は、コロナの影響を除くと緩やかな右肩上がりで増加しています。2013 年頃からは、数量の増加に比べ、金額の増加が大きくなっています。つまり、1 本あたりの平均の金額が上昇していることになります。他国産と同様のスタンダードなボールペンよりも、より付加価値の高いボールペンの輸出が増えたそうです。また、訪日外国人の増加を通じて、日本の高性能なボールペンがアジアを中心に新興国に広まっていることも輸出拡大要因のひとつとみています。

仕向国（地域）別の輸出シェア

2021 年、全国では 106 か国、横浜港では 72 か国を仕向国（地域）としてボールペンが輸出されました。表のとおり、全国でも横浜港でも、数量・金額ともにアメリカ、中国への輸出が圧倒的に多く、その他フランス等欧州やアジアの国々が続いています。

全　国　　2021 年

国名	数量（万本）	構成比	輸出額（百万円）	構成比
アメリカ	36,903	33.5%	18,647	33.5%
中国	27,350	24.8%	13,033	23.4%
フランス	7,892	7.2%	4,477	8.0%
韓国	3,673	3.3%	2,683	4.8%
香港	3,063	2.8%	2,276	4.1%
その他	31,424	28.5%	14,570	26.2%
計	110,305	100.0%	55,687	100.0%

横浜港　　2021 年

国名	数量（万本）	構成比	輸出額（百万円）	構成比
アメリカ	16,911	39.8%	8,002	40.1%
中国	8,139	19.2%	3,603	18.1%
台湾	1,857	4.4%	1,156	5.8%
スペイン	1,253	3.0%	583	2.9%
オーストラリア	994	2.3%	569	2.9%
その他	13,302	31.3%	6,039	30.3%
計	42,456	100.0%	19,952	100.0%

【アメリカ】アルファベット文化圏でサインをする文化があるため、太字が好まれ、なめらかな書き味のボールペンが人気です。また、替え芯を使うことは少なく、インクがなくなったら、新しいボールペンに買い替えることが多いようです。近年、消せるボールペンも人気が出てきています。

【中国】漢字文化圏のため細字が好まれ、ゲルインクボールペンの需要が多く、油性の需要は少ないようです。中高生や若者には、鮮やかな発色で、色のバリエーションが豊かなものが支持され、中にはメタリックカラーや蛍光カラー、黒い紙にも書けるボールペンもあり、一人で何十本も持つ人も多いそうです。

【フランス等欧州】消せるボールペンが人気です。欧州では子どもの頃から鉛筆やシャープペンシルではなく、主にボールペンや万年筆を使っており、間違えたら修正ペンやインク消しペンで訂正するので、消せるボールペンは非常に便利です。2006 年、欧州で発売されると同時に評判となり、その人気は現在も続いているそうです。

【各地域の傾向】業界によると、一般的に、複雑な文字を書く地域、例えば漢字文化圏では、細かい部分を明確に書ける細字のボールペンが好まれ、アルファベット文化圏では、普通～太字のボールペンが好まれる傾向にあるそうです。

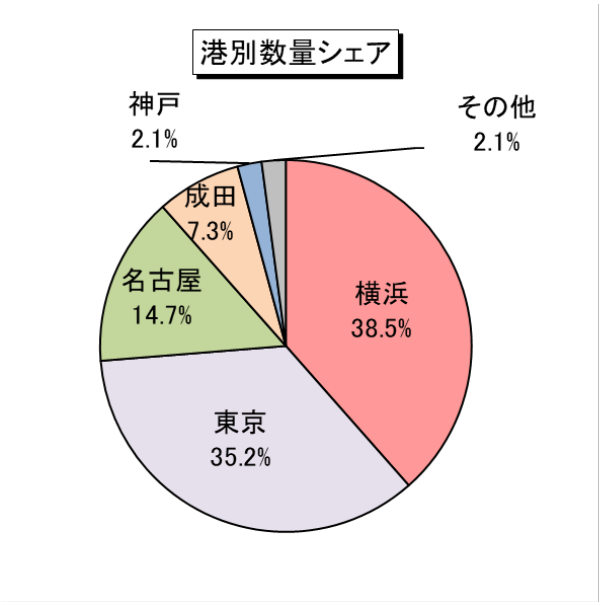
また、日本で販売されている商品のイメージがいいことから、日本と全く同じ商品を販売することもあれば、逆に、各国の慣習や好みに合わせ、デザインや商品名を変えたりすることもあるようです。このように**海外の消費者に受け入れられるよう工夫**をしているそうです。

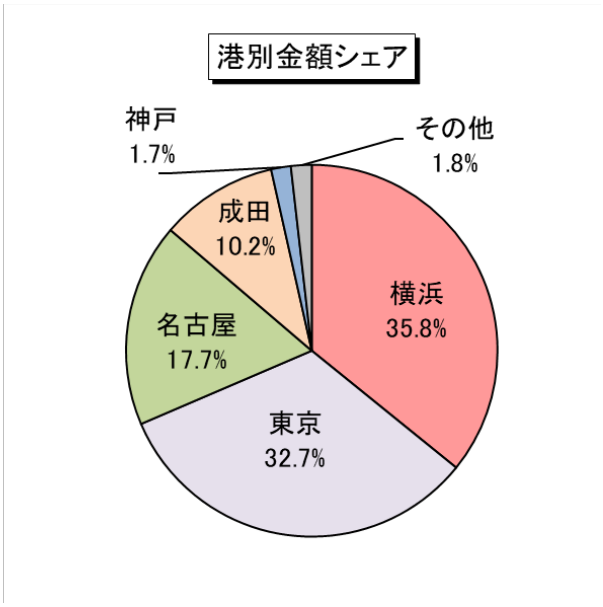
（写真：輸出ボールペンの一例）

港別の輸出シェア

2021 年の港別輸出シェアは、以下の円グラフのとおりです。横浜港・東京港・名古屋港の 3 港で、数量・金額ともに全体の 8～9 割を占めています。

ボールペンは船便のドライコンテナで運送されることが多いようです。業界によると、これら 3 つの海港を利用している理由は、各メーカーの工場がその近辺に所在し、輸送が便利であるからとのことです。





今後の見通し

業界では、ボールペンの輸出について、

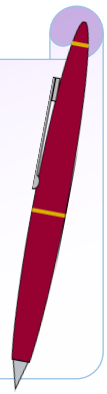
① 日本のボールペンは比較的高価であるとはいえ、衣料品等に比べると安価で、プチ贅沢を楽しめることから、今後も需要が見込まれること
② 海外メーカーとの差別化を図り、魅力的な新製品開発を今後も継続すること
③ まだ本格的に輸出されていない国々もあり、それらの国々の経済成長に伴い、需要を開拓していくことで、マーケットの拡大が見込まれること

等から、今後も緩やかな右肩上がりで推移していくものとみています。

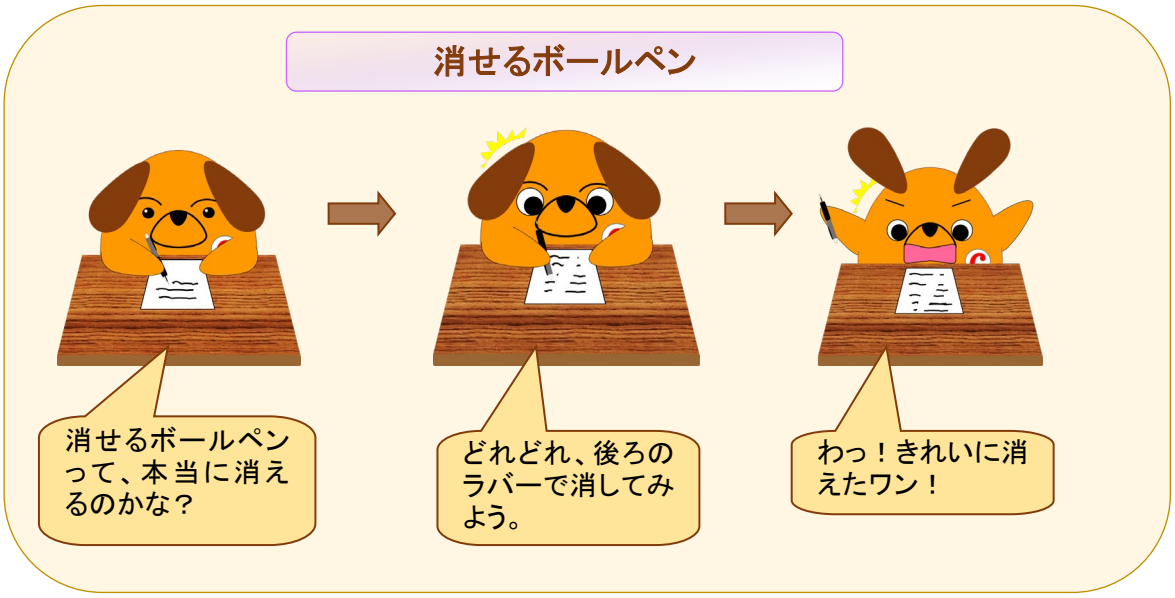
【取材協力】日本筆記具工業会、（株）パイロットコーポレーション、他

【この資料に関する問い合わせ】
横浜税関 調査部 調査統計課　Tel 045-212-6100（直通）
〒231-8401　横浜市中区海岸通 1－1（横浜税関 本関庁舎 1 階）
https://www.customs.go.jp/yokohama/
本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。

業界の方の声：ペン先の小さな金属は、柔らかい素材だとインクがなくなる前にペン先が壊れてしまいます。そのため、硬い素材を使い、日本の高い金属加工技術を生かし、耐久性を持たせています。



ボールペンのミニ知識



ボールペンなのにどうして消えるの？

☛書いた文字を専用ラバーでこすることにより、インキに摩擦熱が伝わります。インキに 60℃以上の熱が加わると色が消え始め、65℃で完全に見えなくなります。
見えなくなった文字は、ある条件になると元に戻ります。→マイナス 10℃になると色が戻り始め、マイナス 20℃になると完全に見えるようになります。

どういう仕組みで消えるのでしょうか？

☛専用ラバーの摩擦熱で消えるのは、消せるボールペンが、特殊なインキでできているからです。インキの色素には、3つの成分①色のもと、②発色成分、③消す成分　が入っています。
温度により、その3つの成分の組み合わせが変わり、見えたり、見えなくなったりします。

注意：証書類、宛名等消えてはいけないものには使用しないでください。高温下に置かないでください。紙の種類や印刷物の特性によっては、消去に不向きな場合があります。

【取材協力・資料提供】(株)パイロットコーポレーション

ボールペンの輸出に係る各種データ

1. 全国と横浜港の輸出実績推移

※2022年は確報値、2021年は確々報値、その他は確定値

年	全国					横浜港						
	数量（千本）	前年比	金額（百万円）	前年比	通関単価（円/本）	数量（千本）	前年比	全国比	金額（百万円）	前年比	全国比	通関単価（円/本）
1988	530,591	－	17,377	－	33	139,834	－	26.4%	4,570	－	26.3%	33
1989	592,598	111.7%	19,854	114.2%	34	166,127	118.8%	28.0%	5,638	123.4%	28.4%	34
1990	703,457	118.7%	24,566	123.7%	35	209,625	126.2%	29.8%	7,270	129.0%	29.6%	35
1991	715,957	101.8%	24,608	100.2%	34	187,887	89.6%	26.2%	7,181	98.8%	29.2%	38
1992	709,851	99.1%	26,203	106.5%	37	241,426	128.5%	34.0%	9,175	127.8%	35.0%	38
1993	784,661	110.5%	25,901	98.8%	33	273,259	113.2%	34.8%	9,993	108.9%	38.6%	37
1994	805,134	102.6%	25,914	100.1%	32	265,262	97.1%	32.9%	10,201	102.1%	39.4%	38
1995	864,332	107.4%	28,686	110.7%	33	305,399	115.1%	35.3%	11,522	112.9%	40.2%	38
1996	965,659	111.7%	35,731	124.6%	37	293,731	96.2%	30.4%	11,798	102.4%	33.0%	40
1997	1,140,913	118.1%	45,232	126.6%	40	318,622	108.5%	27.9%	13,347	113.1%	29.5%	42
1998	1,196,208	104.8%	50,942	112.6%	43	413,287	129.7%	34.5%	17,581	131.7%	34.5%	43
1999	1,378,509	115.2%	55,470	108.9%	40	422,050	102.1%	30.6%	17,593	100.1%	31.7%	42
2000	1,450,501	105.2%	57,352	103.4%	40	402,612	95.4%	27.8%	17,407	98.9%	30.4%	43
2001	1,077,865	74.3%	45,266	78.9%	42	339,756	84.4%	31.5%	14,625	84.0%	32.3%	43
2002	1,042,901	96.8%	44,212	97.7%	42	330,451	97.3%	31.7%	14,380	98.3%	32.5%	44
2003	969,772	93.0%	40,034	90.5%	41	342,171	103.5%	35.3%	13,959	97.1%	34.9%	41
2004	921,868	95.1%	37,352	93.3%	41	331,268	96.8%	35.9%	13,572	97.2%	36.3%	41
2005	865,461	93.9%	35,734	95.7%	41	324,859	98.1%	37.5%	13,285	97.9%	37.2%	41
2006	918,657	106.1%	40,033	112.0%	44	334,188	102.9%	36.4%	14,542	109.5%	36.3%	44
2007	972,807	105.9%	43,317	108.2%	45	367,320	109.9%	37.8%	16,122	110.9%	37.2%	44
2008	944,409	97.1%	40,775	94.1%	43	396,906	108.1%	42.0%	16,962	105.2%	41.6%	43
2009	733,057	77.6%	30,116	73.9%	41	312,576	78.8%	42.6%	12,803	75.5%	42.5%	41
2010	811,792	110.7%	32,026	106.3%	39	315,562	101.0%	38.9%	12,734	99.5%	39.8%	40
2011	850,693	104.8%	32,971	103.0%	39	351,380	111.4%	41.3%	13,670	107.4%	41.5%	39
2012	871,193	102.4%	35,111	106.5%	40	349,049	99.3%	40.1%	13,810	101.0%	39.3%	40
2013	840,136	96.4%	38,265	109.0%	46	352,389	101.0%	41.9%	15,795	114.4%	41.3%	45
2014	881,173	104.9%	42,263	110.5%	48	379,549	107.7%	43.1%	17,839	112.9%	42.2%	47
2015	925,232	105.0%	48,289	114.3%	52	440,995	116.2%	47.7%	22,300	125.0%	46.2%	51
2016	982,940	106.2%	47,332	98.0%	48	423,707	96.1%	43.1%	19,831	88.9%	41.9%	47
2017	1,021,783	104.0%	50,133	105.9%	49	414,404	97.8%	40.6%	19,553	98.6%	39.0%	47
2018	1,020,616	99.9%	49,193	98.1%	48	445,534	107.5%	43.7%	20,185	103.2%	41.0%	45
2019	1,075,070	105.3%	51,870	105.4%	48	440,704	98.9%	41.0%	20,198	100.1%	38.9%	46
2020	869,637	80.9%	41,797	80.6%	48	365,855	83.0%	42.1%	16,867	83.5%	40.4%	46
2021	1,103,048	126.8%	55,687	133.2%	50	424,564	116.0%	38.5%	19,952	118.3%	35.8%	47
2021.1-4月	343,323	－	16,603	－	48	136,064	－	39.6%	6,296	－	37.9%	46
2022.1-4月	398,007	115.9%	20,920	126.0%	53	131,263	96.5%	33.0%	6,633	105.4%	31.7%	51

2．仕向国(地域)別輸出実績（2021年）

全国						横浜港					
国名	数量（千本）	構成比	金額（百万円）	構成比	通関単価（円/本）	国名	数量（千本）	構成比	金額（百万円）	構成比	通関単価（円/本）
全世界（106か国）	1,103,048	100.0%	55,687	100.0%	50	全世界（72か国）	424,564	100.0%	19,952	100.0%	47
アメリカ	369,033	33.5%	18,647	33.5%	51	アメリカ	169,106	39.8%	8,002	40.1%	47
中国	273,496	24.8%	13,033	23.4%	48	中国	81,393	19.2%	3,603	18.1%	44
フランス	78,919	7.2%	4,477	8.0%	57	台湾	18,571	4.4%	1,156	5.8%	62
韓国	36,729	3.3%	2,683	4.8%	73	スペイン	12,533	3.0%	583	2.9%	46
香港	30,630	2.8%	2,276	4.1%	74	オーストラリア	9,941	2.3%	569	2.9%	57
その他	314,241	28.5%	14,570	26.2%	－	その他	133,021	31.3%	6,039	30.3%	－

3．港別輸出実績（2021年）

港名	数量（千本）	構成比	金額（百万円）	構成比	通関単価（円/本）
全国	1,103,048	100.0%	55,687	100.0%	50
横浜	424,564	38.5%	19,952	35.8%	47
東京	388,668	35.2%	18,226	32.7%	47
名古屋	162,514	14.7%	9,848	17.7%	61
成田	80,981	7.3%	5,701	10.2%	70
神戸	23,220	2.1%	954	1.7%	41
その他	23,101	2.1%	1,007	1.8%	－

4. 国内生産数量、輸出比率

年	国内生産数量（千本）	輸出数量（千本）	輸出比率（参考）
2017	1,704,799	1,021,783	59.9%
2018	1,694,474	1,020,616	60.2%
2019	1,717,616	1,075,070	62.6%
2020	1,387,416	869,637	62.7%
2021	1,762,749	1,103,048	62.6%

出典：経済産業省　生産動態統計　ボールペン（完成品）

輸出比率は、国内生産量と貿易統計の輸出数量から横浜税関が算出